

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期 1 T 2 T	1年	2単位	資格必修
担当教員			
中村 由美子			
対象	こども保育コース	ナンバリング	AS071
添付ファイル			

サブタイトル	子育て支援の基本知識と現状について学びます。		
授業の概要	子育てサポート（支援）に従事する者が知っておくべき基本的な知識を講義形式で学んだあと、支援の現場からゲストティーチャーを招き、実践事例から支援の実際を学ぶ。さらに、親子遊びに役立つ保育技術を習得するなど、講義と演習を交えながら学びを深めていく。		
授業の到達目標	①子育て支援の必要性や重要性を理解する。 ②さまざまな子育て支援の実際を知る。 ③子育て支援の現場で役立つスキルを習得する。		
該当ディプロマ・ポリシー項目番号（評価基準番号）	DP 3、4		
授業形態	講義		
授業計画	1	オリエンテーション 前期授業の目的や内容について概説します。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気付きをすぐに整理しておく。（0.5時間）	2
	2	ゲストティーチャー講話① 多様な子育て支援の実際を学ぶため、地域で子育て支援に携わられている支援者の方をお招きし、子育て支援についての学びを深めます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気付きをすぐに整理しておく。（0.5時間）	3
	3	講義①…子育て支援の背景と意義 子育て支援が必要となった背景とその意義について学びます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気付きをすぐに整理しておく。（0.5時間）	4
	4	講義② 育児不安について 子育て家庭や養育者が抱える育児不安について学びます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：講義内容を振り返り理解を深める。（1時間）	5
	5	講義③ 育児不安についてDVD視聴 DVDを視聴し、様々な調査をもとに育児不安について学びます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：講義内容を振り返り学びを深める。（1時間）	6
	6	ゲストティーチャー講話② 多様な子育て支援の実際を学ぶため、地域で子育て支援に携わられている支援者の方をお招きし、子育て支援についての学びを深めます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：ゲストティーチャーから学んだことや感想をレポートにまとめる。（1時間）	7
	7	ゲストティーチャー講話③ 多様な子育て支援の実際を学ぶため、地域で子育て支援に携わられている支援者の方をお招きし、子育て支援についての学びを深めます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：ゲストティーチャーから学んだことや感想をレポートにまとめる。（1時間）	8
	8	ゲストティーチャー講話④ 多様な子育て支援の実際を学ぶため、地域で子育て支援に携わられている支援者の方をお招きし、子育て支援についての学びを深めます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：ゲストティーチャーから学んだことや感想をレポートにまとめる。（1時間）	9
	9	ゲストティーチャー講話⑤ 多様な子育て支援の実際を学ぶため、地域で子育て支援に携わられている支援者の方をお招きし、子育て支援についての学びを深めます。	

	<p>事前学習：これまでの学習をもとに実際場面での心構え等について考える（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気づきをすぐに整理しておく。（0.5時間）</p> <p>10 これまでの振り返り これまでの学習で得たことや気づきについてまとめます。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気づきをすぐに整理しておく。（0.5時間）</p> <p>11 ゲストティーチャーによるばぶばぶフェスタに向けて 毎年企画・参加・実践してきたフェスタについて意義や方法について先輩の事例から学びます。 事前学習：子どもの遊び場についてどのようなものが取り上げられるか下調べをしておく。（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気づきをすぐに整理しておく。（0.5時間）</p> <p>12 ワークショップ①…親子で遊べる遊び場づくり 前回に続き、親子が楽しめる遊びの環境構成について考え、企画・準備します。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気づきをすぐに整理しておく。（0.5時間）</p> <p>13 ワークショップ②…親子で遊べる遊び場づくり 親子が楽しめる遊びの環境構成を実践するための準備と最終確認をします。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気づきをすぐに整理しておく。（0.5時間）</p> <p>14 ワークショップ③…親子で遊べる遊び場づくり 親子が楽しめる遊びの環境を実際に作り、実践します。 事前学習：各週の授業内容について事前に確認をし、必要に応じて準備物を揃えておく。（0.5時間） 事後学習：遊び場での自分の言動を振り返り、良かった点、課題点を整理しておく。（0.5時間）</p> <p>15 ワークショップ④…親子で遊べる遊び場づくり 実践を踏まえ、グループや個人の活動をふり振り返り、自己評価をおこないます。また、次回の実践に生かせるよう、残された課題についても確認をします。 事前学習：遊び場実践の振り返りについてグループディスカッションができるよう内容を整理しておく（0.5時間） 事後学習：特に講話や実践の後は、学びや気づきをすぐに整理しておく。（0.5時間）</p> <p>試験 定期試験</p>
アクティブ・ラーニングを促す手法（主要なもの）	実習 バズ・セッション
評価方法（基準）	授業への参加度（20%）、意欲態度（20%）、提出物（レポート含）（30%）、定期試験（30%） 定期試験では、保育者に何故子育て支援者としての役割が求められているかが理解できているか評価します。 授業への参加度・意欲態度については、受講への姿勢、態度、積極性や言動等を評価します。提出物については、期限内に完成させ、提出ができているかを確認し、内容を含め評価します。
課題（試験やレポート等）のフィードバック	定期試験後（追・再試験終了後）に希望者には解答を開示する。 授業中の課題については、授業中に解説を行う。
教科書 参考書	適宜資料を配布
備考・履修上の注意	休んだ授業の配布資料や授業内容は次の授業までに担当教員に確認し、自己学習しておくこと。
科目に関する実務経験を活かした教育内容	中村 由美子：保育や子育て支援の現場経験のある教員が、その経験を基に、子育て支援の基本知識と現状などについて解説する。
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付けます。